

報道関係者各位

ボクは瞳で嘘を吐く

株式会社 765 プロダクション

作 詞 : 高木 順一朗

作 曲 : 我こそはという強者にまかせる

キミのワイングラスには シャブリ・レ・クロが満たされる
ボクのココロのグラスには 歓喜と邪悪が満たされる
キミから見たボクの瞳には 一体何が映っているんだろう？
何も見えないわとキミは言うかもしれない 乙女の沈む神秘の湖のように

(サビ)

ボクは瞳で嘘を吐く 空気のように自然体で
ボクが過(あやま)つと誰でも気づく
でもボクが嘘を吐いても 誰も気づかないのさ

2人で話す様々な会話 映画にファッション、哲学に人生
愛という名の牢獄(ジェイル)に ボクはとびきりの宝石(ジュエル)を差し出す
ボクは時々思考する ボクの主人は何者なんだろう？
隷属するべき至高の存在 それは狂言師なのかもしれない

(サビ)

ボクは瞳で嘘を吐く 詩人のように目を輝かせて
ボクが過(あやま)つと誰でも気づく
でもボクが嘘を吐いても 誰も気づかないのさ

嘘つきは人間の終わりなのさ そっと誰かが耳元で囁く

ボクは瞳で嘘を吐く まるでおはようの挨拶のように
ボクが過(あやま)つと誰でも気づく
でもボクが嘘を吐いても 誰も気づかないのさ

以上